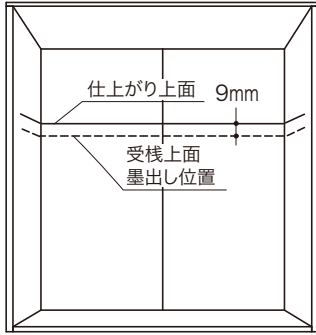


I型の施工手順

※受棧(後・側・前)を固定の際に直接ビスをねじ込むと割れる可能性があります。
 あらかじめφ3mm位の下穴を開けておいてください。
 ※ビスの種類、打ち位置、本数は「ビス打ちの基本本数・打ち位置」をご参照ください。
 ※間口2M以上の場合は必ず「間口が2M以上の場合の補強方法」をご参照ください。

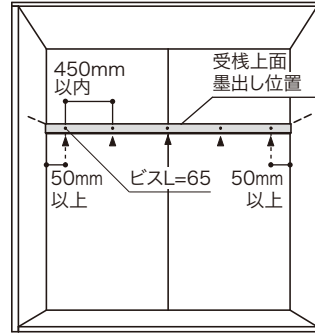
1 取り付け位置の墨出し



棚板の仕上がり上面より9mm下に受棧上面の墨出しを行なってください。

2 後受棧の取り付け

下穴加工が必要です。

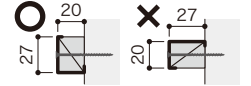


後受棧を間口寸法にカットし、前枠位置を確認の上、φ3mm位の下穴を開けた後、後壁面にワッシャーを通したビスL=65で止め、ビスキャップを取り付けてください。

※6尺(D600)、9尺の場合は先に後受棧にセンター用受棧(L=388/538)を取り付けてから壁に取り付けてください。(裏面参照)

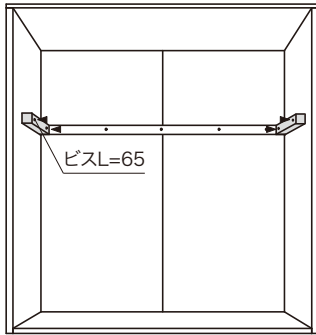
注意

- 受棧の取り付け向きにご注意ください。
- ビスは受棧の端から50mm以上離れた位置に打つようにしてください。
- ビス止めピッチは450mm以内で打つようにしてください。



3 側受棧の取り付け

下穴加工が必要です。



左右の側受棧にφ3mm位の下穴を開けた後、両側壁面にワッシャーを通したビスL=65で止め、ビスキャップを取り付けてください。

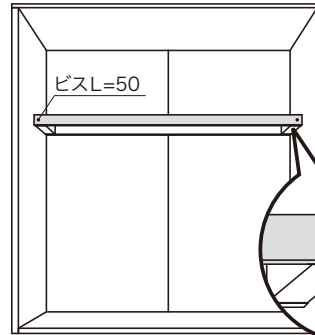
注意

- 受棧の取り付け向きにご注意ください。
- 棚板の奥行を縮める場合「枕棚仕上がり奥行」-62mmが側受棧寸法です。



4 前受棧の取り付け

下穴加工が必要です。



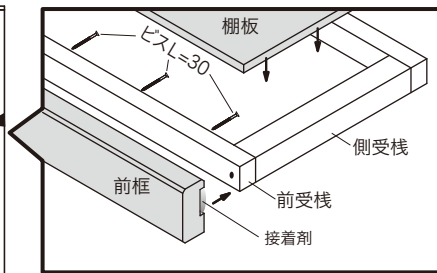
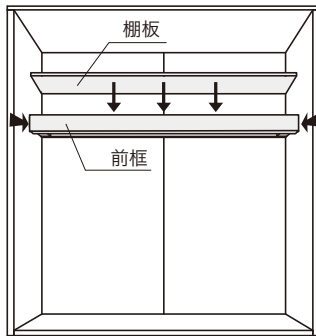
前受棧を間口寸法にカットし、左右の側受棧木口中央部にφ3mm位の下穴を開けた後、ビスL=50で固定してください。

※6尺(D600)、9尺の場合は前受棧からセンター用受棧をビスL=50で固定してください。(裏面参照)

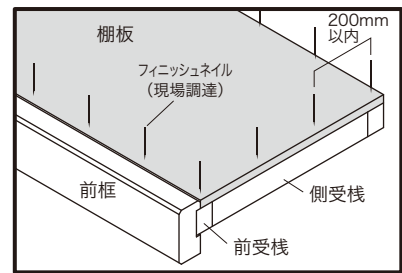
5 前枠・棚板の取り付け

下穴加工が必要です。

前枠・棚板の寸法を取り、カットしてください。「枕棚仕上がり奥行」-27mmが棚板奥行寸法です。

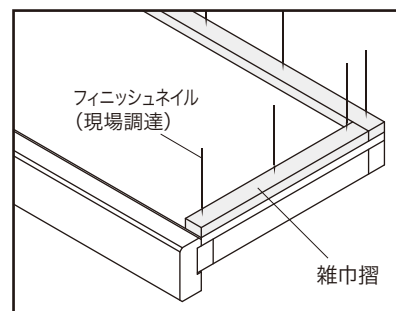


1.前枠を前受棧に取り付けます。
 前枠裏面に接着剤を塗布後、前受棧裏面より前枠と前受棧をしっかり押さえてφ3mm位の下穴を開けた後、ビスL=30で固定してください。
 ※接着剤・・・酢ビ系木工用ボンド(現場調達)



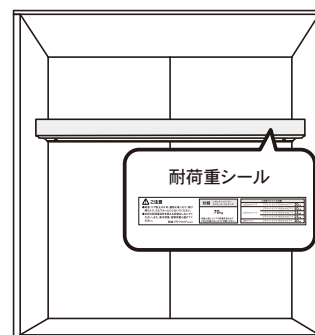
2.棚板を受棧上面に設置します。
 棚板をフィニッシュネイル(現場調達)で、受棧に固定してください。
 (ピッチ200mm以内)

6 雑巾摺の取り付け



雑巾摺を適寸にカットし棚板上の壁際にしてフィニッシュネイル(現場調達)で取り付けてください。また、木口部に木口シールを2カ所貼り付けてください。

7 完成



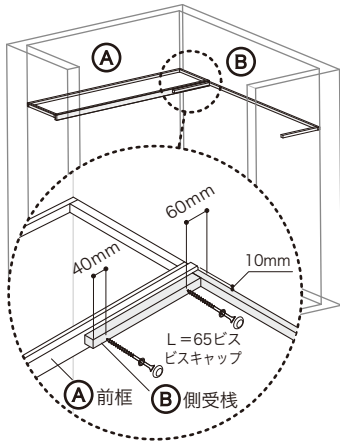
施工後は同梱の耐荷重シールを見る箇所に貼ってください。

L型の施工手順

※受棧(後・側・前)を固定の際に直接ビスをねじ込むと割れる可能性があります。
 あらかじめφ3mm位の下穴を開けておいてください。
 ※ビスの種類、打ち位置、本数は **ビス打ちの基本本数・打ち位置** をご参照ください。
 ※間口2M以上の場合は必ず **間口が2M以上の場合の補強方法** をご参照ください。

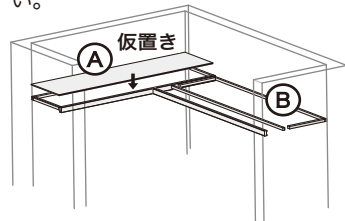
① 受棧の取り付け

下穴加工が必要です。



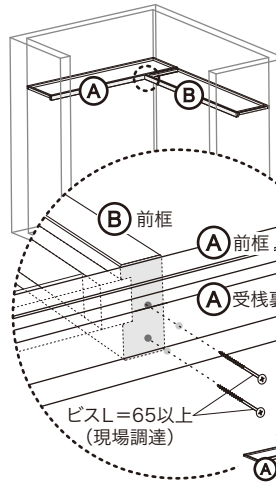
I型施工手順(表面)④までを施工します。**A**前框を取り付けた後、**A**前框の上から10mm下の位置に、**B**の側受棧・後受棧をφ3mm位の下穴を開け、ビスL=65で取り付けてください。

B前框、前受棧をカットする際は、**A**框のたわみを防止するため**A**の棚板を**仮置き**して採寸してください。

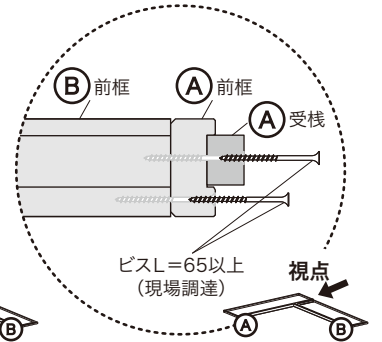


② 前框の取り付け

下穴加工が必要です。

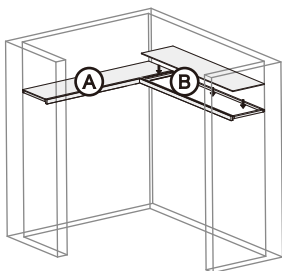


L字に交差する部分の補強として、**A**受棧裏から交差する**B**前框の断面に向かってφ3mm位の下穴を開け、ビスL=65以上(現場調達)を打ってください。

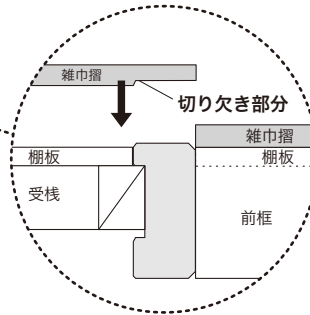
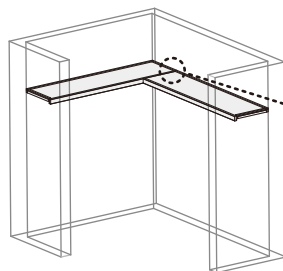


③ 棚板の取り付け

④ 雑巾摺の取り付け



I型の施工手順⑤と同様に**A****B**両方の棚板を施工します。



段差ができるので、雑巾摺を前框の幅の分を切り欠いてください。

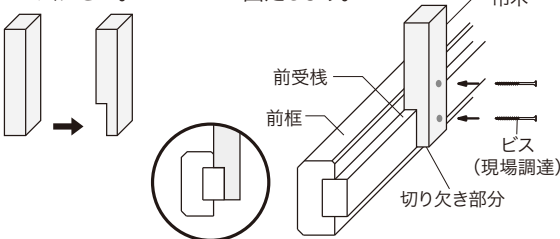
間口が2M以上の場合の補強方法

間口が2M以上の場合は、棚板・受棧の連結部分で下図のいずれかの方法を用いて**補強**してください。

吊木(現場調達)の取り付け

吊り木を切り欠いてください。

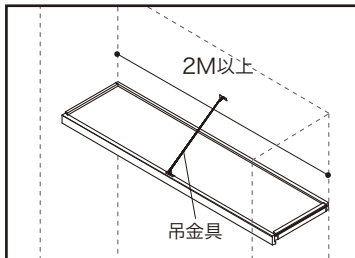
棚板取付前に、框・前受棧にビスで固定します。



施工条件

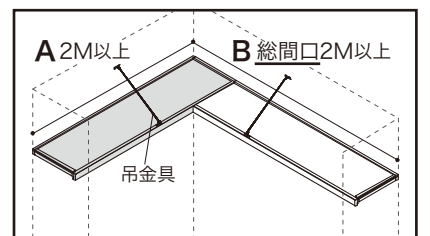
I型施工の場合

枕棚が2M以上の場合、センターに吊金具を取り付けてください。



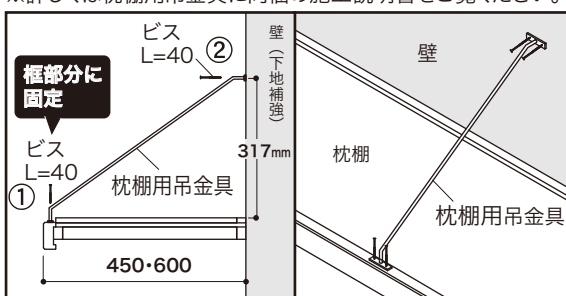
L型施工の場合

両側を壁固定している枕棚(A)が2M以上の場合は枕棚のセンターに、L型に組んだ総間口(B)が2M以上の場合は総間口のセンターに吊金具を取り付けてください。



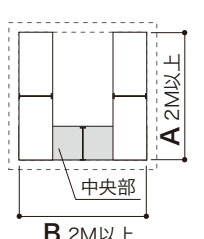
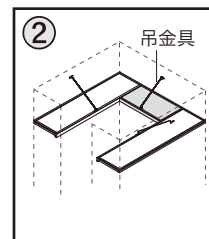
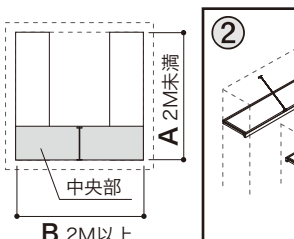
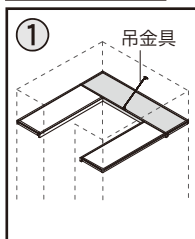
枕棚用吊金具の取り付け(弊社別売品)

枕棚のセンターに同梱のビスを使って①→②の順で固定してください。
 ※詳しくは枕棚用吊金具に同梱の施工説明書をご覧ください。



U型施工の場合

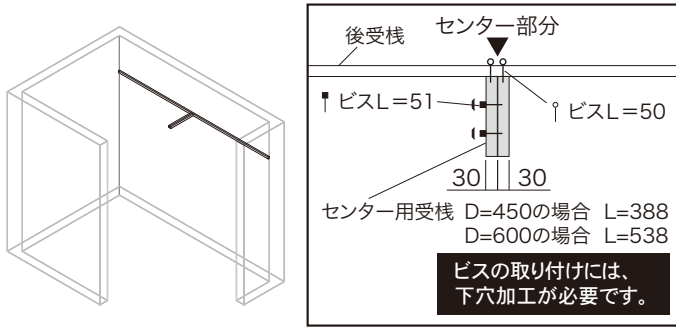
下図を参考に吊金具を取り付けてください。



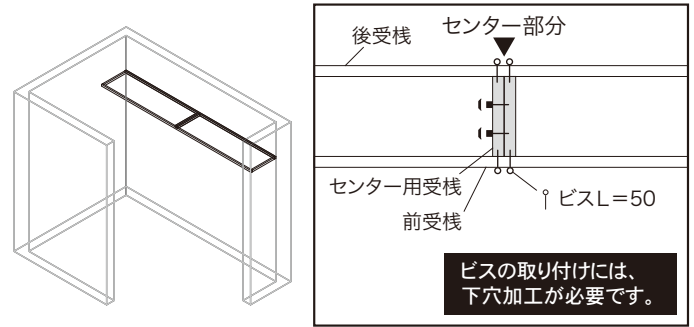
注意 A/Bの両方が2M以上の場合は、必ず②の組み方にて施工してください。

※9尺・6尺(D600)の場合は先に後受棧にセンター用受棧(27×30mm)を取り付けてから壁に取り付けてください。

後受棧の取り付け



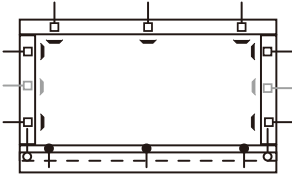
前受棧の取り付け



ビス打ちの基本本数・位置

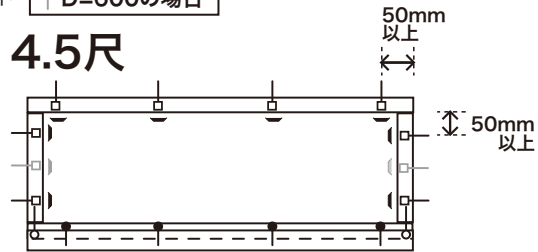
↑ビスL=65 ↑ビスL=50 ↑ビスL=51 ↑ビスL=30 -ビスキャップセット □D=600の場合

3尺



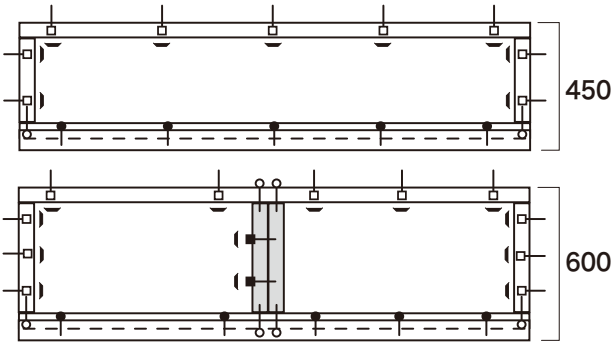
	ビスキャップ	D=450	D=600
L=65	○	7本	9本
L=50	○	2本	2本
L=30	↑	3本	3本
ビスキャップセット	-	9セット(予備2セット)	11セット(予備2セット)

4.5尺



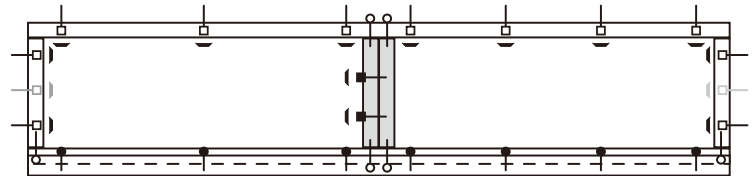
	ビスキャップ	D=450	D=600
L=65	○	8本	10本
L=50	○	2本	2本
L=30	↑	4本	4本
ビスキャップセット	-	10セット(予備2セット)	12セット(予備2セット)

6尺



	ビスキャップ	D=450	D=600
L=65	○	9本	11本
L=50	○	2本	6本
L=51	○	-	2本
L=30	↑	5本	5本
ビスキャップセット	-	11セット(予備2セット)	15セット(予備2セット)

9尺



	ビスキャップ	D=450	D=600
L=65	○	11本	13本
L=50	○	6本	6本
L=51	○	2本	2本
L=30	↑	7本	7本
ビスキャップセット	-	13セット	15セット

建築基準法に基づくホルムアルデヒド発散等級

この建築材料は以下の内容で登録しています。

発散等級区分: F☆☆☆☆

対象部位: 棚板

注意

この用紙は建築基準法に基づく納入部材の確認書類となりますので、大切に保管して工事責任者へ渡してください。

(一社)日本建材・住宅設備産業協会	
発散等級	F☆☆☆☆
登録番号	K-000093
製造業者等名称	南海プライウッド株式会社
ロット番号	梱包に表示
問合わせ先	https://www.kensankyo.org/